ARCHITREND Modelio Ver.2 の新機能

3D カタログ対応：建具・部品・素材

専用ツールバーの「建具」「部品」「素材」から、3D カタログの建材・設備データを入力できるようになりました。
シリーズ設定や部屋などのマスタも 3D カタログに対応したマスタが追加され、「一括自動」で 3D カタログの建材・設備データを配置できます。

プレゼンボードの「カタログ」「建具」「部品」「素材」からも、3D カタログのサムネイル画像やカタログ画像を配置できます。

※ 3D カタログコンテンツのご利用には、3D カタログ.com の会員登録が必要です。

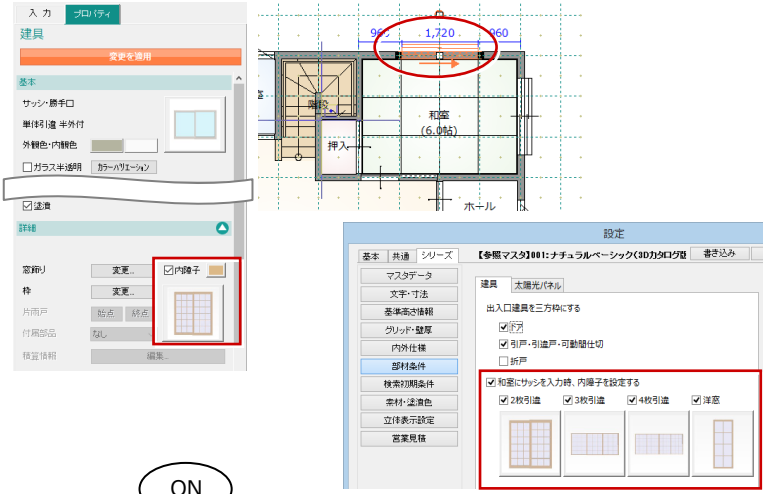
【プラン入力画面】

■ サッシの入力について

3D カタログのサッシは、既製サイズの一覧から選びます。
一覧は間タイプ別に表示され、「木造」または「2×4」の「区分」で切り替えることができます。
間タイプの初期値は、「シリーズ設定（検索初期条件）」で設定できます。

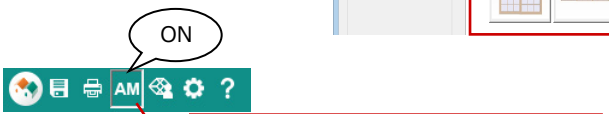
■ サッシの内障子について

3D カタログのサッシを内障子付きにするには、プロパティで「内障子」を ON にして形状を選びます。
和室・床の間に入力するサッシを内障子付きにする場合は、「シリーズ設定（部材条件）」で「和室にサッシを入力時、内障子を設定する」を ON にして、種別ごとに初期形状を設定しておきます。内障子を付けたくないサッシは、種別のチェックを OFF にしておきま



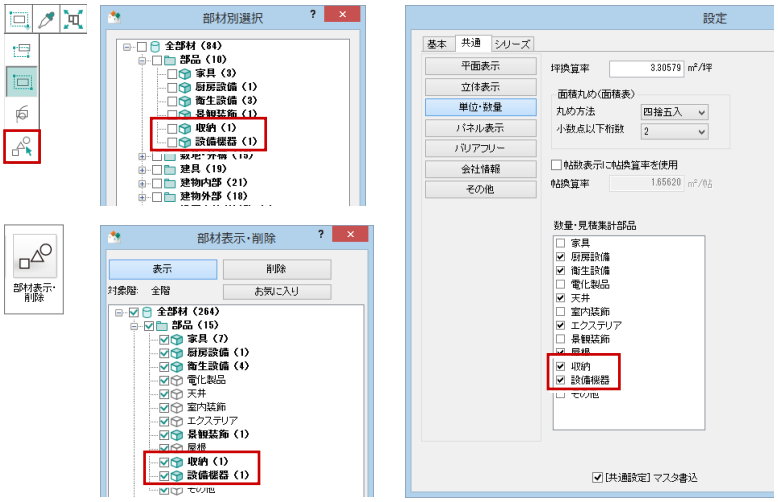
■ Archi Master を使用するには

従来通り、Archi Master を使用するときは、共通ツールバーの「Archi Master を参照するように切り替え」を ON にしてください。



3D カタログ対応：部品分類の追加

2D ツールバーの「部材別選択」や専用ツールバーの「画像･確認」の「部材表示･削除」に、「部品－収納」と「部品－設備機器」の分類が追加されました。3D カタログの収納部品や設備部品は、ここに分類されます。
また、「数量一覧」や「営業見積」の集計用として「共通設定」の「単位･数量」の「数量･見積集計部品」にも「収納」と「設備機器」が追加されています。



3D カタログ対応：サンプルプランの取込

「開く」ダイアログや「名前を付けて保存」ダイアログに、「3D カタログ」に関する機能が追加されました。

■ サンプルプランダウンロード

3D カタログ.com の空間配置ページを開きます。このページで、サンプルプランを利用したインテリア・エクステリアのシミュレーションを行い、その結果をダウンロードします。

■ サンプルプランインポート

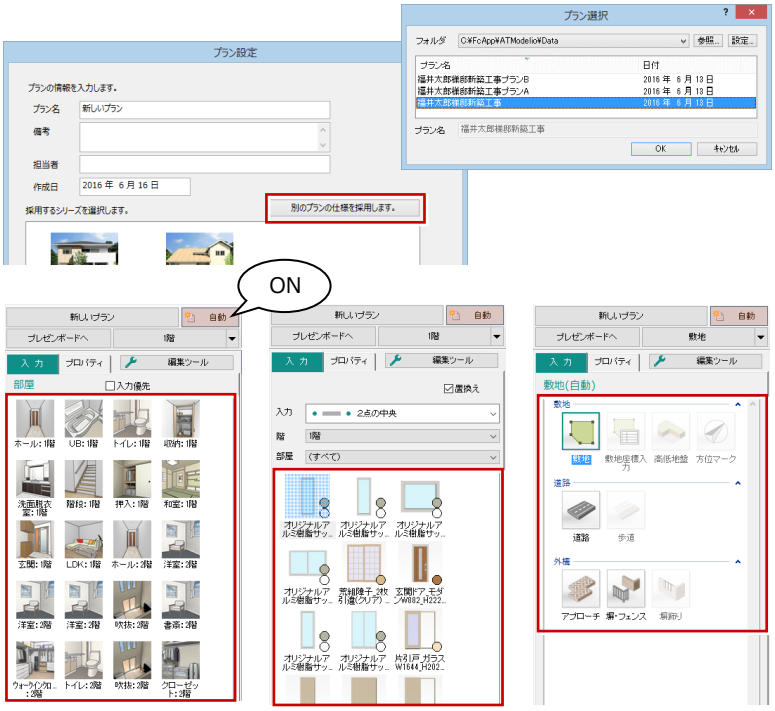
ダウンロードしたサンプルプランを取り込みます。

自動マスタ化

既存プランの入力データを利用して、新規プランを入力する機能を新設しました。
新規プラン作成時に「別のプランの仕様を採用します。」を選択して参照するプランを選ぶと、データ入力時にプラン名の横に「自動」というボタンが表示されます。

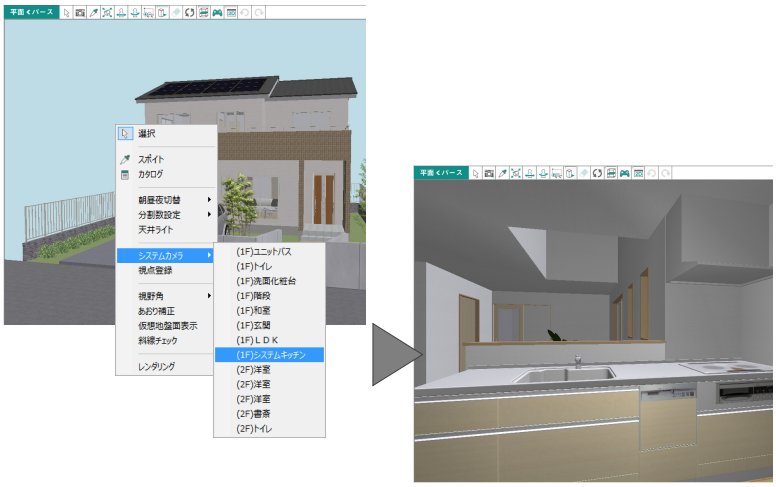
「自動」を ON にすると、「部屋」「建具」「部品」「素材」のパネルには、参照プランに入力されているデータがリストアップされます。「敷地」「内部」「外部」「屋根･天井」などは、参照プランで入力されているデータがコマンドの初期値になります。

「自動」を OFF にすると、通常の入力に戻ります。



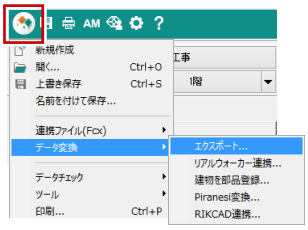
システムカメラの対応

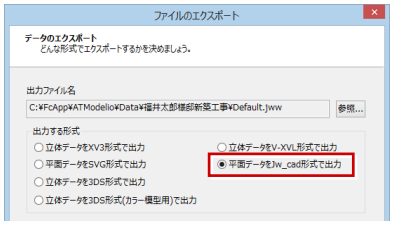
3D ビューのポップアップメニューに、システムカメラが登録されるようになりました。視点をクリックするだけでダイレクトにビューが切り替わり、内観や設備などの確認が簡単に行えます。



jw-cad 出力の追加

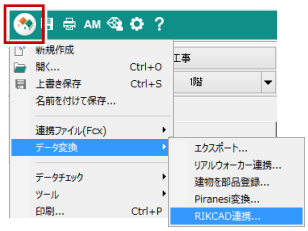
処理メニューの「データ変換」の「エクスポート」に、平面データを jw-cad 形式で出力する機能を追加しました。





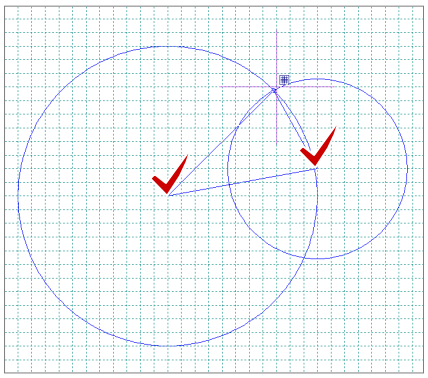
RIKCAD 連携の対応

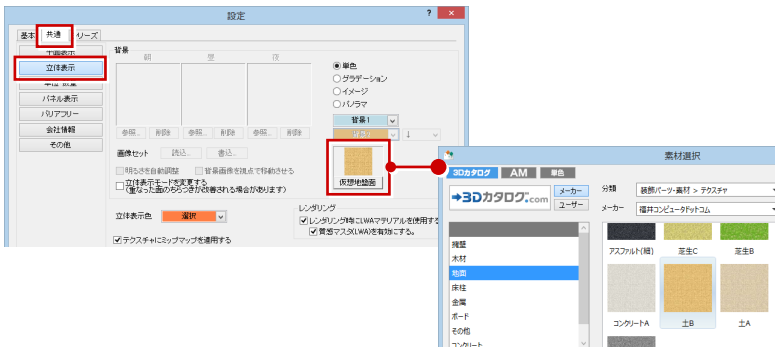
処理メニューの「データ変換」に「RIKCAD 連携」を追加しました。
プランデータを「RIKCAD」で読み込めるファイルに変換できます。



2 円交点による補助点入力の対応

汎用シンボルに「2 円交点」を追加しました。それぞれ半径を指定した 2 円の交点に、補助点を作成できます。三斜区画の入力などに便利です。



仮想地盤面の素材設定に対応

「共通設定」の「立体表示」で仮想地盤面の素材を設定できます。